



第445号
2026年3月17日

J R
西労組 よなご
west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部

発行責任者 亀山 泰孝
編集責任者 松田 将悟

2 0 2 6 春 季 生 活 闘 争 妥 結

ベースアップ：10,000円（シニア社員含む）

年間臨給：5.42箇月（夏2.77 冬2.65箇月）

エリア手当：山陰支社 3%→5%

【各種手当・諸制度など※一部抜粋】 ※各種成果の詳細は本部ニュースを参照ください

- 契約社員の時給額65円引き上げ
- 指令員手当の増額（9,000円→10,000円）
- 通勤手当の距離区分に5 5 km以上/24,400円を新設
- 資格保有に伴う職務手当にて2級建築士（8,000円）を追加
- 別居手当に家族を介護する場合を追加

【地方本部より】 ～2026春季生活闘争の妥結を受けて～

賃上げが当たり前の世の中へのステージ変換への正念場！と連合が唱えている今次春闘。物価高騰に苦しむ組合員の期待に応えるべく、地方委員会で確認した取り組みを、地本・支部・分会が積極的に実践することで米子エリアから26春闘を盛り上げ、中央闘争委員会の背中をあと押しし続けてきた。本日、中央闘争委員会はこの間の組合員の労苦に報いる結果を引き出し妥結した。この結果は、凄まじい速さで変容する現代において、酷暑のなか、雪が吹き付ける寒波の中、また人々が寝静まった夜でも、変化を恐れずチャレンジを重ね頑張ってきた我々の努力の成果である。昨年に引き続き、エリア手当が改善され、ベースアップと定期昇給を合わせれば昨年並みの賃金改善となる。また年間臨給も昨年を上回った。米子地方本部の各支部・分会・青年女性委員会が日頃から献身的な労働運動への参画と積み重ね、その強い思い（願い）が中央闘争委員会に届いたからであり、26春闘を通じたそれらの活動が組織強化へ繋がったと確信する。

引き続き、私たちの働く価値向上に向け、各級機関で力を合わせ組合員とその家族の幸せを築いていこう！



組合員の奮闘に心から感謝申し上げます!!